愛知大学

履修モデル（文学部　人文社会学科）

【履修モデルとは…】
学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。
学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、
履修したらいいかを明示しているものが「履修モデル」です。
学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	文学部・人文社会学科	対象入学年度	2018年度以降入学生
ディプロマ・ポリシー	文学部人文社会学科では、カリキュラム・ポリシーに従い履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および専攻別の履修要件をすべて満たし、厳格な成績評価を経ることにより、総計124単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。「卒業論文」は必修で、自分でテーマを決め、資料・実地調査を行い、これに基づいた解釈、先行文献との比較を通して、自分なりの結論を導き出します。なお、メディア芸術専攻では「卒業論文」に換えて「卒業制作」を提出することも認めます。「卒業論文」、「卒業制作」のどちらについても、論文審査（「卒業制作」においては付帯論文審査）と口述試験を行うことで、テーマ発掘力、調査力、資料の解釈・分析力、ものごとを自分なりに考え、新たなものを創造し、表現する力、また自分で導き出したものや創造したものを人前で発表する力、質問や批判に答え、他者と対話する力が養われたかを確認します。		
カリキュラム・ポリシー	文学部人文社会学科では、広く人文・社会諸学の成果に基づき、理論的かつ批判的にものごとを分析・思考する能力を有し、それぞれの職域において指導的な立場に立って、企画構想、問題解決の実践を行い、国際的教養と視野をもって「世界文化と平和」へ貢献しうる人材の育成をめざしています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1)コミュニケーション能力、情報処理能力、基本的な思考方法や総合的な判断能力を養成するため「外国語」「数理・情報」「自然」「社会」「人文」「総合」「体育」の分野による共通教育科目を設けます。外国語は2年次から所属する専攻によっては言語が指定されます。そのため1年次には英語とそれ以外の外国語(中国語、フランス語、ドイツ語、ロシア語、韓国・朝鮮語から選択)を履修し、2年次の専攻所属後に、第1外国語(8単位)、および第2外国語(6単位)を決定します。 (2)1年次生の専門教育科目では、学部必修科目のである「文学部総合研究」の中で文学部の各専攻の学問の基礎に触れ、文学部全体の学問を見渡し、自分が進む専攻を判断する機会をもちます。それに加えて各コースの導入科目として「入門講義」(3科目選択可)と「入門演習」(2科目選択可)を学部選択必修科目として設け、関心のある専攻の学問領域に触れる機会が提供されています。 (3)学生は、上記(1)、(2)の導入科目を踏まえ、2年次から5コース12専攻(東アジア文化、哲学、図書館情報学、メディア芸術、社会学、日本史学、世界史学、地理学、日本語日本文学、現代国際英語、ドイツ語圏文化、フランス語圏文化)＊および心理学科のいずれかに所属します。専攻に所属してからは、主要な専門教育科目として、演習などのコース必修科目、専攻必修科目およびコース共通選択科目の区分があり、卒業必要単位数の区分ごとの配分は専攻ごとに異なります。 ＊ 2015年度入学生は、6コース14専攻(東アジア文化、哲学、図書館情報学、メディア芸術、現代社会学、行動社会学、心理学、日本史学、世界史学、地理学、日本語日本文学、現代国際英語、ドイツ語圏文化、フランス語圏文化)となります。 ＊ 2016年度および2017年度入学生は、6コース13専攻(東アジア文化、哲学、図書館情報学、メディア芸術、社会学、心理学、日本史学、世界史学、地理学、日本語日本文学、現代国際英語、ドイツ語圏文化、フランス語圏文化)となります。		

履修モデル	コース	欧米言語文化コース　現代国際英語専攻
養成する人材像	英語コミュニケーション能力向上のためのカリキュラムにより、英語による受容・発信力の涵養に主眼を置いています。そのための施策として、英語圏の文化的・言語的な規範の理解に加え、英会話や英語プレゼンテーション、TOEIC/ TOEFL受験、英語指導法といった実践面に秀でた人材を育てます。それに加え、クラス内外においてネイティブとの交流を図り、英語圏への留学を積極的に推進しています。これらにより、英語教員などの専門職を中心に、英語媒体による教育・出版、ならびに海外業務にも対応できる国際人の育成を目指します。	

		1年次				2年次				3年次				4年次				合計単位
		第1ｾﾒｽﾀｰ	単位	第2ｾﾒｽﾀｰ	単位	第3ｾﾒｽﾀｰ	単位	第4ｾﾒｽﾀｰ	単位	第5ｾﾒｽﾀｰ	単位	第6ｾﾒｽﾀｰ	単位	第7ｾﾒｽﾀｰ	単位	第8ｾﾒｽﾀｰ	単位	
共通教育科目	外国語分野	Communicative English Ⅰ	1	Communicative English Ⅱ	1	Practical English Ⅰ	1	Practical English Ⅱ	1									8
		Reading Ⅰ	1	TOEIC	1	Reading Ⅱ	1	Reading Ⅲ	1									
		入門独／仏語Ⅰ	1	入門独／仏語Ⅱ	1	応用独／仏語Ⅰ	1	応用独／仏語Ⅱ	1									6
		基礎独／仏語Ⅰ	1	基礎独／仏語Ⅱ	1													
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	情報の科学,言語と文化,文学,心理学,動物行動学,現代技術と社会,日本語学,哲学,ジェンダー論,現代の思想など																28
	体育分野	ｽﾎﾟｰﾂ・健康演習	2															2
専門教育科目	学部必修	文学部総合研究	2													卒業論文	4	10
																卒業論文	4	
	学部選択必修	入門講義(CIE)	2	入門演習(CIE)	2													4
	コース必修					欧米言語芸術概論	2	言語学概論	2	欧米言語文化演習Ⅰ	2	欧米言語文化演習Ⅱ	2	欧米言語文化演習Ⅲ	2	欧米言語文化演習Ⅳ	2	22
								欧米文学史概論	2									
	現代国際英語専攻必修	Oral Strategies(英会話初級)	2	Oral Comprehension(英会話初級)	2	English Communication 概論	2	English Comm. 基礎演習	2	Academic Writing I	2	Academic Writing II	2					12
						Cont. International English 概論	2	Cont. International English 基礎演習	2									
						英米文化研究Ⅰ概論	2	英米文化研究Ⅰ基礎演習	2									
						Essential Grammar	2	Basic Composition	2									
	学部選択必修・コース必修・コース選択（現代国際英語専攻必修科目を除く）・他コース科目・心理学科科目	英米事情	2			Current Issues Ⅰ (英会話中級)	2	Current Issues Ⅱ (英会話中級)	2	Current Issues Ⅲ (英会話上級)	2	Current Issues Ⅳ (英会話上級)	2					14
						Preparation for TOEIC・TOEFL	2	Listening Strategies	2	New Media English	2	Principles of FLT	2					
						英米文化研究Ⅱ概論	2	英米文化研究Ⅱ基礎演習	2	など		など						
						など		など										
自由選択	共通教育科目・専門教育科目	(共通教育科目) 総合独／仏語Ⅰ, 総合独／仏語Ⅱ, 世界の言語Ⅰ, 世界の言語Ⅱ, ジェンダー論, 政治学, 宗教学 スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ など (専門教育科目) ヨーロッパ文明史Ⅱ, 芸術史, カルチュラル・スタディーズ, ジェンダー・セクシュアリティ論, など、18単位以上を1～3年の内で																18
合　計			－		－		－		－		－		－		－		－	124

卒業要件(卒業必要単位:124単位)
1　共通教育科目は、次の定めるところにより、合計44単位以上を修得しなければならない。
(1)外国語分野　必修外国語として第1外国語8単位、第2外国語6単位、計2ヵ国語14単位
(2)数理・情報2単位、自然・社会・人文分野各4単位を含め、数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から28単位
(3)体育分野　2単位
2　専門教育科目は、次の定めるところにより、合計62単位以上を修得しなければならない。
(1)学部必修科目10単位
(2)学部選択必修科目4単位
(3)コース必修科目14単位
(4)コース選択科目のうち現代国際英語専攻必修科目24単位
(5)コース選択科目のうち、コース内他専攻必修科目・コース共通選択科目から6単位
(6)学部選択必修科目・コース必修科目・コース選択科目・他コース科目・心理学科科目から4単位
3　上記のほかに、共通教育科目及び専門教育科目の中から18単位以上を修得しなければならない。